

# 令和3年度府中町キッズ環境調査プロジェクト報告書

## 1 目的

このプロジェクトは、次代を担う子供たちの視点に立ち、子供たちは府中町の自然環境・生活環境というものをどう感じているのか調査をし、その声を地域に伝え、地域で課題に取り組んでいくという地域力を生かした環境づくりの仕組みを作り、環境保全意識及び地域コミュニティを醸成していくことを目的としています。

## 2 対象

町内全5校の小学校を対象に、各学校で選定した学年等で調査及び活動を行いました。  
なお、各学校の対象学年・学級数等、児童数は、次のとおりです。

府中小学校	科学工作・環境	クラブ	17人
府中南小学校	4年生（4学級）		126人
府中中央小学校	5年生（3学級）		99人
府中東小学校	4年生（2学級）		54人
府中北小学校	4年生（2学級）		69人
合計			365人

## 3 活動内容

- (1) キッズ環境調査アンケート
- (2) 各学校での取り組み

## 4 キッズ環境調査アンケート

府中町の自然環境や生活環境に対する子どもの意識について、選択式（一部記述式）で回答するアンケート調査を行いました。

## 5 各学校での取り組み

各学校では、児童がどのような意識や関心を持っているかをもとに、それぞれの学校で取り組むテーマを設定し、子どもの視点に立った環境調査などを行い、地域の環境について考え、体験や学習を深める活動を行いました。

## 【 キッズ環境調査アンケートの集計結果 】

※ 割合は、四捨五入の関係上、合計値が100%にならない場合があります。

### ◇ 山・川や池・生き物について

#### 問1 府中町の好きなところは、どんなところですか？

自由記述のため、色々な記述があったため、「住みやすさ」と「自然」と「人・地域が良い」に分けて示した。

「住みやすさ」の中で、「公園等遊べる施設が多い」、「大型商業施設ほかスーパーもたくさんあり便利」と回答した児童が、多かった。

「自然」の中では、突出しての「自然が豊か・たくさんある」が多く、次いで「虫・鳥などの生き物がいっぱいいる」だった。

また、「人・地域が良い」の中では「人がやさしい・思いやりがある」「地域の人があいさつしてくれる」などが多かった。

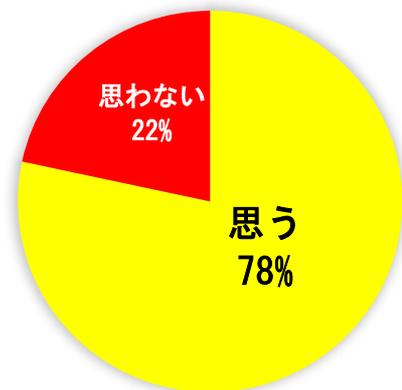
#### 問2 府中町の山に（また）行きたいと思いますか？

「山に（また）行きたい」と「思う」が、府中小 94%、南小 75%、中央小 71%、東小 87%、北小 86%であった。

行きたいと思う理由では、「自然がたくさんある」が50%で最も多く、「たんけんできる」が18%でそれに続いた。

その他の記述では、「めずらしい鳥を見た」「気分転換になる」「眺めがいい」などがあつた。

行きたいと思わない理由では、「のぼるのがしんどい」が38%と一番多かった。



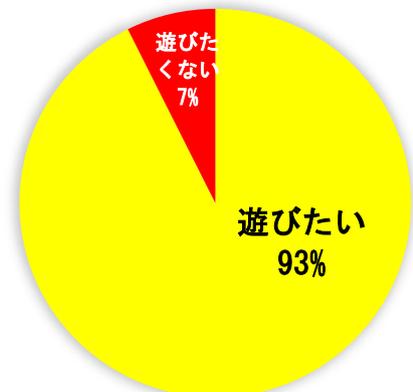
#### 問3 府中町の川や池はほとんど入ることができませんが、入ることができるなら遊びたいと思いますか？

川や池で「遊びたい」が93%で、概ね、各校とも問2「(山に行きたいと)思う」の割合より多かった。

「何をして遊びたいですか」では、「水遊び」が24%で最も多かった。

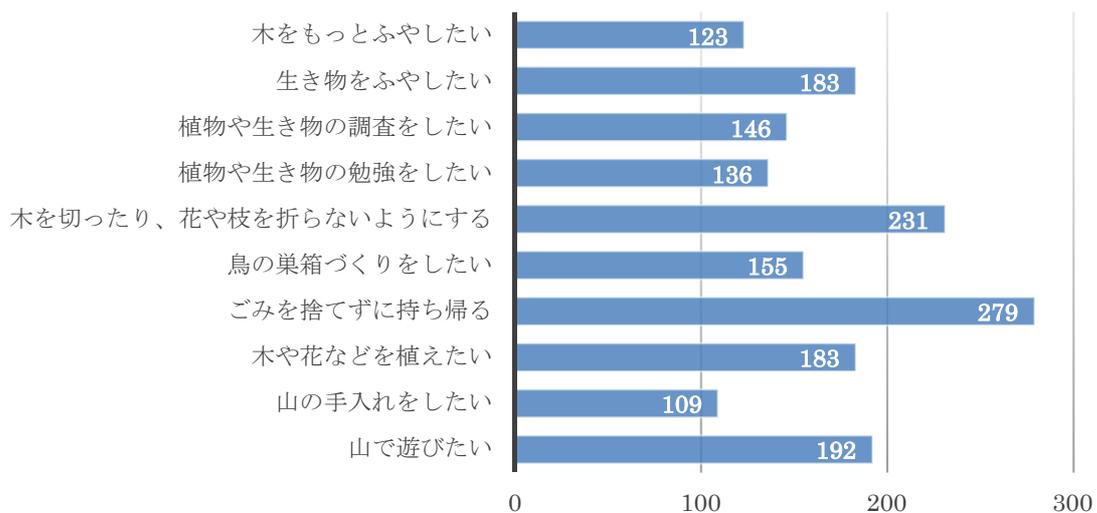
その他の記述では、「生物の観察」という記述などがあつた。

遊びたくない理由では、「生き物がこわい」が38%で最も多かった。その他の記述では、「他のことをしたい」「泳げない」などがあつた。



問4 府中町にある山・川や池・生き物について、下の表に書いている内容を見て、自分がやりたいと思うことに○をつけてください。(複数回答)

(1) 山について

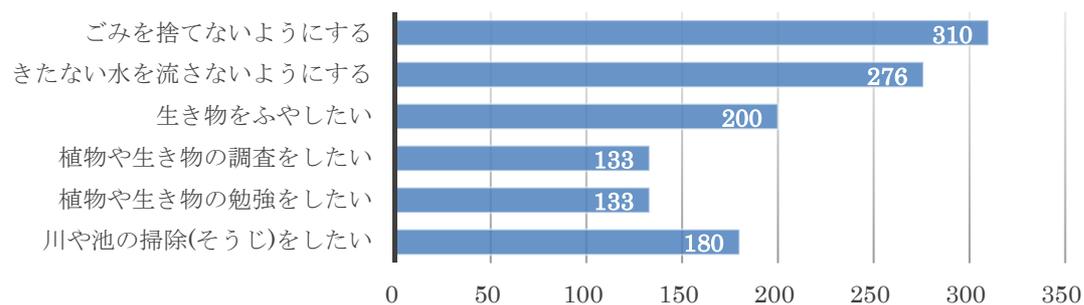


「ごみを捨てずに持ち帰る」は、昨年同様に多かった。

特に府中東小では 89% と多かった。

全体的には昨年と大幅な差はなかった。

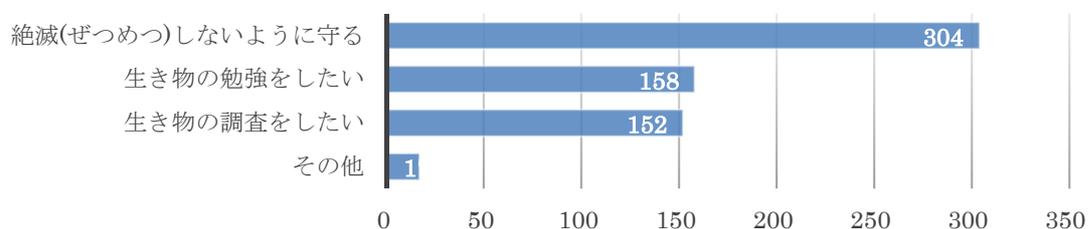
(2) 川や池について



「ごみを捨てないようにする」は、昨年同様に 85% と高い値となった。

全体的には昨年と大幅な差はなかった。

(3) 自然の生き物について

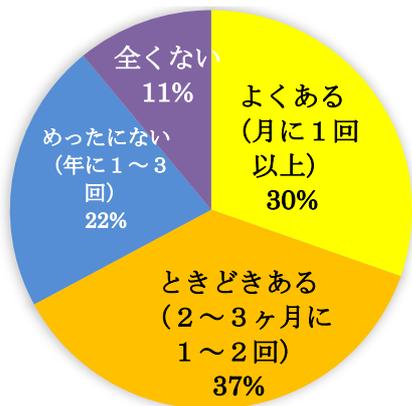


「絶滅しないように守る」は、昨年同様に 83% と高い値となった。

(4) その他

その他の自由記述では、「ごみを捨てず自然をきれいにする」「生き物と仲良くしたい」「ごみを持って帰る」「チラシ・ポスターを貼る」などがあった。

問5 自然の中で遊んだり、自然の生き物にふれたりすることはありますか？



「よくある」「時々ある」を、各校とも半数以上の児童が回答していたが、特に府中小では88%と多かった。

また、「めったにない」「全くない」は、中央小が38%で一番多く、府中小が12%で一番少なかった。

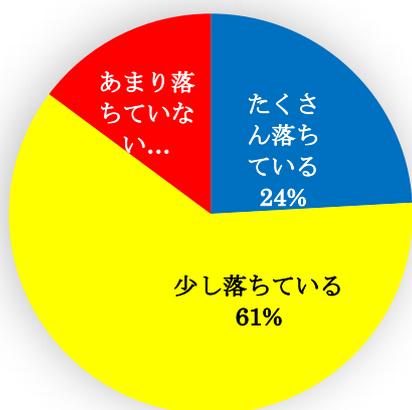
問6 通学路で気になるところがありますか？

自由記述のため、大きな項目に分けて示した。児童が気になるところを記述した。

「犬の糞が落ちている」、「ゴミが落ちている (たばこ・ペットボトル・お菓子の袋などのポイ捨て)」、「信号機がない所がある」「カーブミラーが倒れそうな所がある」、という記述があった。

◇ ごみについて

問7 道や川などに、ごみが落ちていると感じますか？



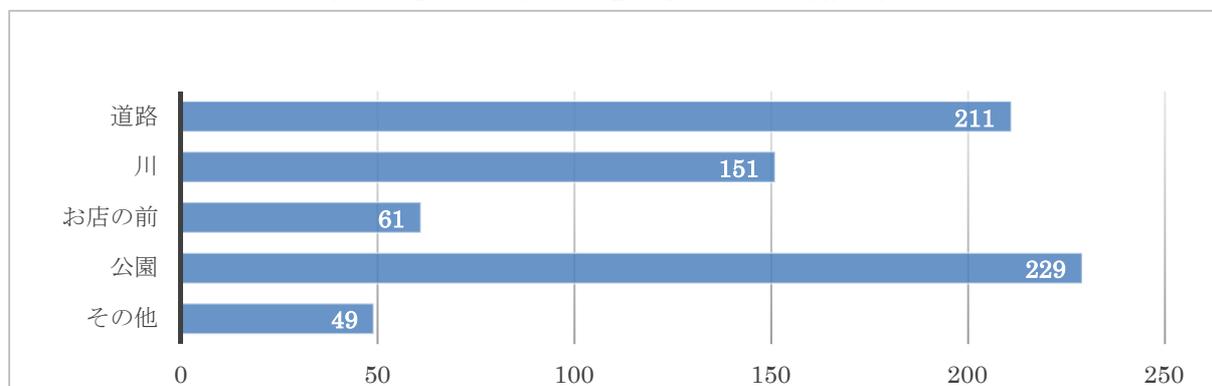
「少し落ちている」が多く、「たくさん落ちている」が続いた。

両方を合わせて85%の子どもが、道や川などにゴミが落ちていると感じている。

「たくさん落ちている」は、北小が30%で一番多かった。

また、「あまり落ちていない」は府中小が12%で一番多かった。

問8 とくに、どこに落ちているごみが多いと思いますか？ (複数回答)



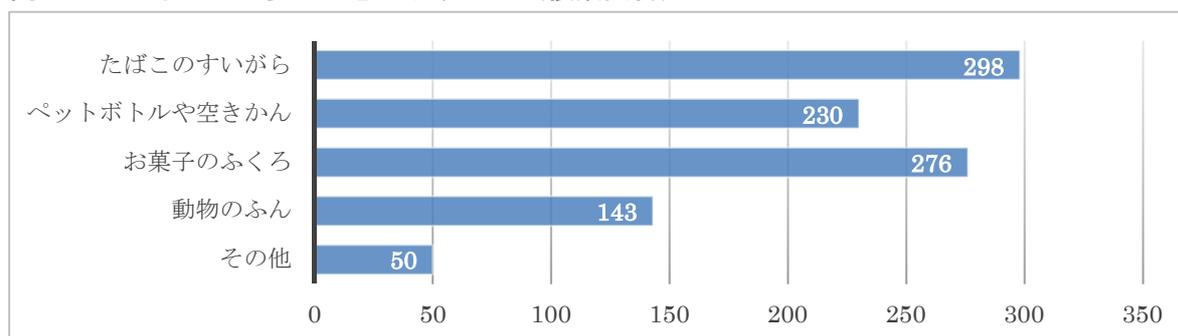
複数回答の設問で、「公園」が63%で一番多く、「道路」58%、「川」41%と続いた。

また、「公園」は東小が76%、「川」は北小が59%、「道路」は中央小が63%で一番多かつ

た。

その他の自由記述では「海」「公園」「通学路」「草むら」「山」「駐車場」「学校」「家の周り」などがあつた。

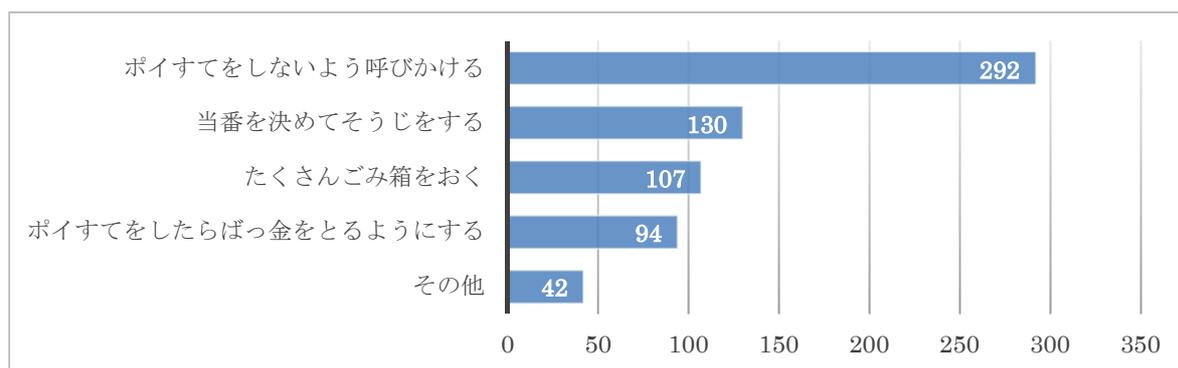
### 問9 どんなごみが多いと思いますか？（複数回答）



複数回答の設問で、各校とも「たばこのすいがら」が一番多く、南小では75%だが、その他の学校では83%以上が回答していた。南小、東小では「お菓子のふくろ」が多く東小では75%と突出していた。

その他の自由記述では、「紙くず」「ビニール袋」「食べ物のごみ」「マスク」「食べ物の箱」などがあつた。

### 問10 ごみを減らすにはどうしたら良いと思いますか？（2つまで回答）



各校とも「ポイ捨てをしないよう呼びかける」が最も多かつた。府中小・南小では「たくさんごみ箱をおく」が続いたが、中央小・東小・北小では「ポイ捨てしたらばっ金をとるようにする」が2番目に多かつた。

その他の自由記述では、「ポスターや看板で呼びかける」「ごみが落ちていたら拾う」「ごみを持ち帰る」「掃除する」「ポイ捨てに法律を作り、罰を与える」などがあつた。

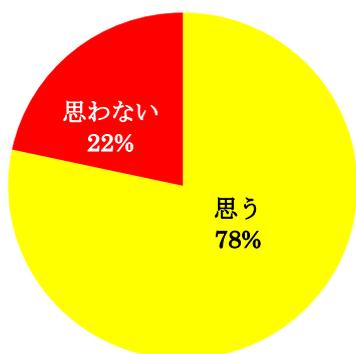


## ◆◆◆ キッズ環境調査アンケートのまとめ ◆◆◆

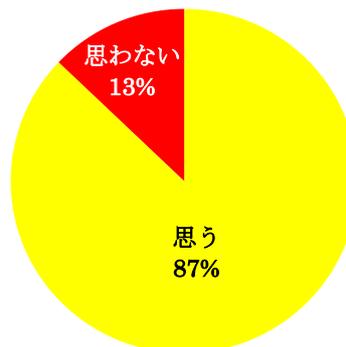
このアンケートは、毎年、年度始め環境調査を行う前の子どもたちに行っています。  
 環境について調査・学習する前の子どもたちの意見を聴き、同じアンケートを同時期に継続して行うことで、子どもたちをとりまく環境の変化を調査することを目的としています。  
 令和3年度のアンケート結果について次のとおりまとめました。

### ◇山・川や池・生き物について

山に行きたいと思いますか



川に入って遊びたいと思いますか



「山に行きたいと思いますか」という問いに対し78%が「思う」に、「川に入って遊びたいと思いますか」という問いに対し87%が「思う」に回答しているとおおり、自然の中で遊びたいと思う子どもが多いことを示している。また、「川に入って遊びたい」と回答した子どもがより多いことから、府中町の子どもたちにとって、山よりも川の方が身近に感じられていると思われる。

### 山や川、生きものについて、それぞれ自分がやりたいこと



- 木をもっとふやしたい
- 生き物をふやしたい
- 植物や生き物の調査をしたい
- 植物や生き物の勉強をしたい
- 木を切ったり、花や枝を折らないようにする
- 鳥の巣箱づくりをしたい
- ごみを捨てずに持ち帰る
- 木や花などを植えたい
- 山の手入れをしたい
- 山で遊びたい



府中北小学校	29	38	37	35	37	46	50	44	27	46
府中東小学校	18	28	20	22	41	27	48	31	20	30
府中中央小学校	18	41	29	26	59	33	69	39	18	45
府中南小学校	53	69	46	48	88	39	100	60	38	64
府中小学校	5	7	14	5	6	10	12	9	6	7

「山や川、生きものについて、それぞれ自分がやりたいこと」の問いに対し、山について、「ごみを捨てずに持ち帰る」が一番多かった。

## 川

- ごみを捨てないようにする
- きたない水を流さないようにする
- 生き物をふやしたい
- 植物や生き物の調査をしたい
- 植物や生き物の勉強をしたい
- 川や池の掃除(そうじ)をしたい



また、川についても「ごみを捨てないようにする」が一番多かった。

## 生き物

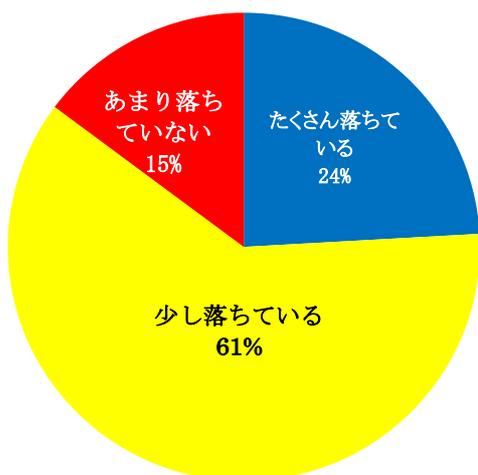
- 絶滅(ぜつめつ)しないように守る
- 生き物の勉強をしたい
- 生き物の調査をしたい
- その他



なお、「絶滅しないように守る」との回答が多く、植物や生き物の生存への危機感が高まっていることがうかがえる。

## ◇ごみ(ポイ捨て)について

「道や川などにごみが落ちていると思いますか」の問いに対し「あまり落ちていない」と感じている人が15%だった。



「通学路で気になる場所は」という問いでも「ごみが落ちている」の回答が多く、ごみのポイ捨てへの関心が高いことがうかがえる。

「とくに、どこに落ちているか」の問いに対し、「道路」「川」「公園」の順で多く、「どんなごみが多いか」に対しては、「たばこのすいがら」「お菓子のふくろ」「ペットボトルや空き缶」の順が多かった。

ポイ捨てを減らすにはどうしたら良いと思うかの問いに対し「ポイ捨てをしないように呼び掛ける」が多く、次に「当番を決めてそうじをする」、「たくさんごみ箱をおく」との回答が多かった。

## ◇まとめ

町の中心から10分程度で「みくまり峡」、「揚倉山運動公園」、「空城山公園」があり、水・緑・野鳥などの豊かな自然に触れることができる。

町内には5つの小学校、図書館、くすのきプラザ、2つの公民館、2つの児童センター、55か所の児童公園があり、子どもたちの今回のキッズ環境調査アンケートで「府中町の好きなところはどこですか」と自由記述で書いてもらったところ、「自然が多いところ」「公園等遊べる施設が多い」「人がやさしい・親切」と多くの子どもたちが回答している。それに続いて「お店や施設があって便利」が多く、子どもたちにとって「自然」もあり「便利」な町と思う児童が多いことがわかる。

また、「山・川などで自分がやりたいこと」で、「ごみを捨てず自然をきれいにしたい」「木を切ったり、花や枝を折ったりしないようにする」「山で遊びたい」の項目で回答が多いことから、山や自然を守る事に対して関心や使命感があることがうかがえる結果となった。

キッズ環境調査プロジェクトでは、今後も、子どもたちの環境に対する思いを地域や関係団体に発信し、よりよい環境への取組みのヒントとして活用していただけることを期待している。

その第一歩として、まずは、地域ボランティアの育成と活動の促進を軸に、今後も、地域と学校をつなげるような働きかけをしていきたい。

令和4年3月

府中町キッズ環境調査プロジェクト連絡協議会

事務局：府中町町民生活部環境課（環境保全係）

〒735-8686 広島県安芸郡府中町大通三丁目5番1号

電話：082-286-3244 FAX：082-284-7111



#### **◆連絡協議会**

第1回：令和3年5月27日（木）午後4時から 府中町役場5階 第1委員会室

第2回：令和4年2月書面開催

#### **◆環境出前講座、講師派遣の斡旋（キッズ環境調査プロジェクト）**

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、これらの事業は、未開催

#### **◆活動発表・展示・広報など**

展示：新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、この事業は、未開催

広報紙（令和3年6月号）

府中町公式ホームページ（令和3年11月更新）

その他、関係団体への情報発信

#### **◆キッズ環境調査プロジェクトから生まれた地域の環境活動**

H23～H25 たばこのポイ捨て防止キャンペーン（府中町公衆衛生推進協議会）